

幌加内町では、R5年に発生したヒグマによる人身事故の影響により、朱鞠内湖を中心として観光入込客数が減少した。そのことを踏まえ町と観光協会、NPO法人などと連携を図り、観光客が安心して来町できる観光地づくりを目指している。

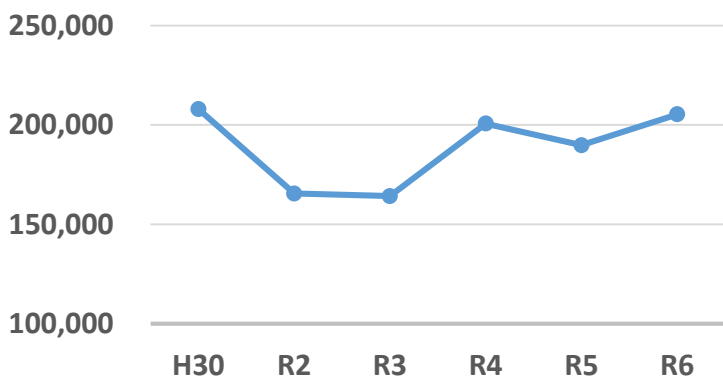
関連数値目標・KPI

	基準値 (H30)	実績 (R6)	目標値 (R6)	進捗率 (%)
観光入込客数	208,000	205,333	210,000	97.8%
朱鞠内湖の 入込客数	78,000	60,075	79,000	76.0%

取組の推進体制

役場、観光協会、NPO法人、朱鞠内湖淡水漁業協同組合等から構成される「ヒグマ被害防止対策協議会」を立ち上げ、適切な役割分担の下、ヒグマ被害防止に関する今後の方針等の検討を行っている。

観光入込客数の状況



新型コロナウイルス感染症やヒグマの人身事故の影響により部分的に入込客数が落ち込んでいるが、R6には回復傾向にある。

取組事例 失われた観光需要の回復

朱鞠内湖における安全対策の強化

○主な取組

- ・朱鞠内湖畔キャンプ場内に電気柵の設置
- ・自動撮影カメラでの事故対策
- ・見通しを良くするための広範囲での草刈りの実施



○主な成果

安心安全な観光地づくりを進めるとともに、観光客に対して情報発信を努めることによりR5に落ち込んだ朱鞠内湖の入込客数がR6には増加傾向となっている。

ヒグマに対する正しい認知の促進

○主な取組

- ・観光案内所においてヒグマに対する正しい知識や理解につなげるため、ヒグマ対策の取組や冊子の配布を行うなどの普及活動を実施。

○主な成果

町民および観光客に対して、ヒグマに関する情報発信を行うことで、敬遠されてきた観光地としてイメージが払拭されつつある。

